



2月 ちゅうりっぷだより



2025. 2. 1

先日はクラス懇談会にご参加ありがとうございました。ちゅうりっぷさんの1年間の姿をたくさんお話ししたい！と長いお話を聞いていただけたこと嬉しく思います。子どもたちの日々の姿や、振り返ってみて大きくなったなと感じることが多くありました。保護者の方も入園当初を思い返すと大きくなったな、成長したことがたくさんあったなと感じて頂けたと思います。3期は、また移行があったり、環境変化もありますが、子どもたちが不安にならないように一緒に安心して過ごせるようにしていきたいと思います。

月齢の高いお友だちから散歩では順番に手を繋いで歩く経験をしている中で、最近は少しずつ距離を伸ばして歩く事をしています。順番に交代して歩くことで「次は私かな？」と期待をしながら過ごしています。

普段通る道も自分の足で歩けることの喜びや、自分で歩いて来られた嬉しさが全身から伝わってくる子どもたちの姿がほほえましいです。また、月齢の小さいお友だちも散歩車に揺られての散歩で周りの景色をキョロキョロと見渡しながら楽しんでくれています。電車を見に行くと目の前をビューンと走る電車を、目で追ったり、体を乗り出してバイバイと手を振ったりと、目を忙しく動かして見る、感じることをしています。

最近ではハイハイやずり這いのお友だちも、散歩先や園庭で自分の獲得した動きであちらこちらに探索に出かけ、手の平で掘ってみたり、触って感触を楽しむ姿もあります。

ぜひ天気の良い日には、親子で手を繋いで歩く経験、お散歩に出かけてみてください。



お友だちとの関わりも少しずつでてきた子どもたち。まだまだ1人の世界で過ごすことも多くありますが、お友だちの名前がいえるようになって「〇〇ちゃん」と呼んだり、お休みのお友だちが登園してきたら「イタ！キタ！」と喜びの表現、言葉が出たりと、お友だちへの関心も出てきました。ち1のお友だちは特に言葉が出てきて周りを見る力もついてきてお友だちが泣いたり、寝たりしていたり、その時の状況を見て「ネンネー」「シー」と静かにのサイン。小さいお友だちも、よしよししてくれる大きいお友だちとわかって、来てくれるとニコニコ笑って喜び、時には同じように並んでイタズラを試してみたりと、子どもたちの世界の中で意思疎通しながら、楽しむ姿がみられます。保育者だけでなく、お友だちとの関わりが広がり嬉しく思います。

